

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関は道路より35cm下にあるため、階段が2段ある。スロープの必要があるときは補助板を使うなどの対応を準備している。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			8割の職員が参加している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			研修プログラムを組んで毎月リスクマネジメントも実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	発行されているアセスメントツールを参考に、事業所に合うツールの作成・使用を検討する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			3月から開始した休校など臨機応変に課題を変更して実施している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			終了後には必ず職員から児童の様子を振り返ってもらう
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			経過記録は詳しく記載している	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各機関に対して適宜報連相を実施している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状受け入れ態勢は整っておらず検討中
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて報連相している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて療育センターなどに連絡している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			公園などを活用
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			適宜参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話、送迎時お話しする機会を作っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後検討が必要
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノートを導入している
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者のご意見を聞き、必要があれば保護者同士の連携支援を行う。

		子どもや保護者からの苦情について、対応の体				
--	--	-----------------------	--	--	--	--

	③③	制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		必要に応じて管理者、責任者が対応をするように組織で動いている
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報誌ではないが日々、ブログを更新し保護者が閲覧できる状況にしている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡ノートを導入している
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		マルシェなどを開催し地域住民を招待子供たちも交流する
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	分からないというご意見もいただいたので、周知していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に訓練等を実施
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修プログラムに組み込み済み
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		管理栄養士と相談して 食事には気をつけている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎月リスクマネジメントカンファレンスを実施している

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

別紙2

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3		

・体制整備	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	3		利用日毎に職員が誰がいるか知れると良い。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2		
	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>1</sup> が作成されているか	11			
適切な支援の提供	⑤	活動プログラム <sup>2</sup> が固定化しないよう工夫されているか	10	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	3	コロナの影響で難しいかもしれないが、機会があれば交流したい。機会があるか分からない。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1		
保護者への説明等	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	10	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		10	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		父母の会等開催は難しいと思う。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	1	LINE等を活用して連絡帳に書き忘れた事を共有したり、その日の様子などを教えてもらえると良い。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	9	2		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	4	2	周知・説明されているか分からない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3		行われているか不明が2名

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	2		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8			

(注釈)

<sup>1</sup> 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援

を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

<sup>2</sup> 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題。平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 3年 4 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービスもやいのえんがわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配	<input type="radio"/>			玄関前の階段は、必要な場合は補助板

	慮が適切になされている	○			を行うなどの検討をしたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		8～9割の職員が参加している	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修プログラムを組んで毎月リスクマネジメントも実施している。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		発行されているアセスメントツールを参考に、事業所に合うツールの作成・使用を検討する。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後には必ず職員から児童の様子を振り返ってもらう	

	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		経過記録は詳しく記載している	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			
関	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○ ☒	☒	自発管が必ず参画している	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適	○		各機関に対して適宜報連相を実施している	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		切に行っている				
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		受け入れ態勢は整っておらず検討中
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて 報連相している	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて療育センターなどに連絡している	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		公園などを活用	
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			日程的に参加可能な協議会は参加できるように調整していく。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話、送迎時などお話しする機会を作っている。直接お話しすることが難しい場合はメールでも対応している。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後検討が必要
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡ノートを導入している	

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者のご希望に沿うため、希望があれば保護者同士を繋ぐなどの対応を検討する。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて 管理者、責任者が 対応できるように 組織で動いている	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報誌ではないが 日々、ブログを更新し 保護者が閲覧できる状況 にしている	
	③⑮	個人情報に十分注意している	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡ノートを導入している	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		マルシェなどを開催し 地域住民を招待 子供たちも交流する	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者に伝わっていない状況もあった為、周知していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練等を実施	建物を共有している保育園ともより一層連携を高めていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修プログラムに組み込み済み	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		管理栄養士と相談して食事には気をつけている	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月リスクマネジメントカンファレンスを実施している	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙 4

公表：令和 3 年 4 月 1 日

事業所名 もやいのえんがわ

保護者等数（児童数）11 回収数 11割合 100%

3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3				今後も有効にスペースが使えるようにしていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	3			日によって配置している職員が変わり、誰が対応したのか分	今後も適切と考えて頂けるように配置する。希望した保護者には対応した職員をお知らせする。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2				今後も安全に利用できるように配慮する。
適切 な支 援の 提供 提	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>1</sup> が作成されているか	11					今後もニーズや課題に応じて計画していく。
	⑤	活動プログラム <sup>2</sup> が固定化しないよう工夫されているか	10	1				今後も固定化しないようにプログラムを計画していく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の	2	5	3		機会があれば交	交流がある場合は保護

供	⑤	ない子どもと活動する機会があるか						流したい。	者へ発信したい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1					今後も丁寧に説明する。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1					今後も保護者へお伝えする。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3					適宜取り組んでいきたい。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		10			父母の会等、開催は難しいと思う。連絡等は一斉メール等あれば助かる。	現在の所、保護者会の開催を計画していない。希望があれば個別で保護者同士を繋いでいく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1					今後も迅速かつ適切に対応していく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11						今後も取り組んでいく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	1	1		LINE等を活用して伝えきれていない情報を共有したり、状況を教えてほしい。	定期的に書類で発信したが、さらにメール等でも発信をしていきたい。
⑭	個人情報に十分注意しているか	9	2					今後も職員に通知していく。	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	4	2	1			周知・説明を徹底していく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3		1		不明という声もいただいた。	防火管理者の下、適宜行っていく。また、保護者へ発信していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	2			2	日によっては行きたくないという日もある。	今後も児童が楽しめるように取り組む。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8	1			2		さらに満足していただけるように努める。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。